



はんだ

市議会だより

議長に**沢田 清氏**、副議長に**澤田 勝氏**を選出
議会選出監査委員は**小栗佳仁氏**
5月の第3回半田市議会臨時会にて就任



監査委員 (議会選出)

小栗佳仁



議長

沢田 清



副議長

澤田 勝

議長就任あいさつ

市民の皆様には、日頃より半田市議会の活動に対し深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

このたび令和2年第3回半田市議会臨時会におきまして、議長・副議長・監査委員の要職を務めさせていただくこととなりました。誠に身に余る光栄に感じますとともに、その責任の重大さを痛感しているところであります。市民の皆様のお力添えをいただきながら、この重責を果たしていく所存でございます。

議会と執行部が共に切磋琢磨して、社会福祉をはじめとする市民生活の向上に努めていくという二元代表制の下、この1年間の半田市議会におきましては、今後の半田市の発展と持続可能なまちづくりに繋がる、市民のための施策を実践すべく、執行機関としっかりとした議論を重ねてまいります。

世界的な広がりを見せた新型コロナウイルスにより、生活や経済活動など、様々な影響を受けている方々の事を想い、感染拡大防止だけではなく、社会、経済への影響を注視しながら、早急な支援対策を行っていく必要があります。

市民の皆様への負託に応えるべく、議決機関として適正な市政運営が行われているか監視し、市議会と執行機関が緊張感を持ちながら、元気で活力ある安全で安心なまちづくり実現のため邁進していく所存であります。

また、地域の特徴を生かしつつ、安全で安心な住みよいまちづくりのために、市民の皆様の声を市政に反映させることができるよう、課題の解決に向けて議員一人ひとりが議論をつくり、活発な議会活動が続けてまいりたいと存じます。

結びに、市民の皆様への益々のご健勝を心からお祈りいたしまして、就任の挨拶とさせていただきます。



議長就任挨拶
(YouTube)

審議結果 令和2年第2回臨時会(4月30日)

() 内は議案の補足説明です。

■その他の案件

議案番号等	議案名	議案番号等	議案名
承認1	専決処分の承認について(令和2年度半田市一般会計補正予算第1号)	承認2	専決処分の承認について(令和2年度半田市国民健康保険事業特別会計補正予算第1号)
承認3	専決処分の承認について(半田市国民健康保険条例の一部改正)	承認4	専決処分の承認について(半田市後期高齢者医療に関する条例の一部改正)

■賛否の分かれた案件

議案番号等	議案名	創造みらい半田										公明党		維新・半田市民の会	志民ネット	自民クラブ	無所属	議決結果								
		石川英之	芳金秀展	沢田清美	水野尚美	鈴木幸彦	伊藤正興	澤田正勝	岩田玲子	渡辺昭司	久世孝宏	榊原伸行	山田清一	坂井美穂	山本半治	加藤美幸	中川健一		竹内功治	小栗佳仁	小出義一	新美保博	嶋崎昌弘	鈴木健一		
議案35	令和2年度半田市一般会計補正予算第2号(全半田市民を対象に、一人当たり10万円を給付する給付費及び事務費を計上するもの・子育て世代への臨時特別給付金を給付する事業費・テイクアウトのみに使える6,000円の商品券を5,000円で販売など)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	原案可決	
決議案1	新型コロナウイルス感染症の惨禍により、危機的状況にある市民の暮らしを支える施策実行へ向けた半田市の奮起を促す決議(やる事が遅く少ない市役所に対し、包括的な新型コロナウイルス対策を促す)	議	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	否決
決議案2	10万円を市内事業者の応援に使う宣言についての決議(市議会議員は率先して国からの10万円全てを市内事業者応援のために使う)	議	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	否決

(表の見方) 議は議長(採決に加わらない)、○は賛成の議員、●は反対の議員、退は退席の議員、欠は欠席の議員



賛成討論

議案35号に賛成

鈴木健一議員

令和2年度半田市一般会計補正予算第2号には賛成ですが、次の点を指摘させていただき、より拡充を求めます。

休業要請に応じたお店や時短営業を行う飲食店への支援は賛成ですが、これに含まれない市内事業者にも、財政調整基金を使う等の方法で支援のための予算を盛り込むべきではありませんか。検討する事を強く求めます。

審議結果 令和2年第3回臨時会(5月13日・14日)

() 内は議案の補足説明です。

■全会一致の案件

議案番号等	議案名	議案番号等	議案名
議案37	半田市国民健康保険税条例の一部改正について(低所得者を対象とする、保険税の減額基準を見直す、課税の特例を追加するもの)	議案38	半田市介護保険条例の一部改正について(低所得者に対する介護保険料の負担軽減を図るもの)
議案39	跨線橋整備工事(その2)請負契約の締結について(環状線区域内の乙川地区、JR武豊線を越える跨線橋を令和5年度中に完成させるため、橋台を2基整備する工事契約をするもの)	議案40	福祉文化会館舞台機構改修工事請負契約の締結について(舞台機構の老朽化に伴う改修工事契約をするもの)
	議長の辞職について	議案41	半田市監査委員の選任について
	常任委員会委員の選任について		議会運営委員会委員の選任について
	政治倫理審査会委員の選任について		中部知多衛生組合議会議員の選挙について
	知多中部広域事務組合議会議員の選挙について		半田常滑看護専門学校管理組合議会議員の選挙について
	知多南部広域環境組合議会議員の選挙について		

■その他の案件

議案番号等	議案名	議案番号等	議案名
	常任委員会の中間報告（総務委員会の委員会活動報告※内容は6頁に）		特別委員会の報告（公共施設のあり方調査特別委員会、中小企業振興調査特別委員会の委員会活動報告※内容は7頁に）

■賛否の分かれた案件

議案番号等	議案名	創造みらい半田										公明党		維新・半田市民の会	志民ネット	自民クラブ	無所属	議決結果									
		沢田清	芳金秀展	水野尚美	鈴木幸彦	伊藤正興	岩田勝	岩田玲子	渡辺昭司	久世孝宏	石川英之	榑原伸行	山田清一	坂井美穂	山本半治	加藤美幸	中川健一		竹内功治	小栗佳仁	小出義一	新美保博	嶋崎昌弘	鈴木健一			
	「議案第42号令和2年度半田市一般会計補正予算第4号」および「議案第43号 令和2年度半田市水道事業会計補正予算第1号」の組み替えを求める動議（事業者への水道料金減額をやめて、児童扶養手当受給者世帯の支援へ）	議	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	○	○	●	○	○	●	否決	
議案36	令和2年度半田市一般会計補正予算第3号（7月から受付が始まるマイナポイント事業の事務費及び、高齢者の自動車運転重大事故を抑制するため、安全運転支援装置の設置費を補助をするもの）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案可決	
議案42	令和2年度半田市一般会計補正予算第4号（事業継続緊急支援金事業は、国の持続化給付金を補填しても補填しきれない場合に減益規模で市がその2分の1の額、法人100万円、個人50万円を限度に支援するもの）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案43	令和2年度半田市水道事業会計補正予算第1号（6か月分の水道基本料金を無料、一般家庭の場合は約4,700円の支援）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
決議案3	「議案第42号 令和2年度半田市一般会計補正予算第4号」に対する付帯決議（コロナウイルスの影響により、まさに支援を必要とする人を早急に把握、支援策を早急に実施するよう申し加える決議）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議長の選挙について																									選挙	
	副議長の選挙について																									選挙	

(表の見方)議は議長(採決に加わらない)、○は賛成の議員、●は反対の議員、退は退席の議員、欠は欠席の議員

反対討論

議案36号に反対

鈴木健一議員

令和2年度半田市一般会計補正予算第3号にマイナンバーカード関連の予算が入っているため、反対です。2万円の先払いで5千円分のポイントが付与される事業ですが、低所得者の収めた税金が、富裕層に使われ、逆進性を強めるとの指摘がある事と、マイナンバーカードのセキュリティが万全でないこともあり賛成できません。

議案42・43号に反対

加藤美幸議員

水道基本料半年分の減額は一般的な家庭で約4700円が差し引かれます。しかし、市内の契約者約5万件すべてが対象であり、本当に困っている人の把握ができず経済的支援とは言い難い点、減額による水の浪費への心配、将来にわたる安心安全な水道の維持を考えると、2億7000万円の税金を使う水道料金の減額には反対です。

付帯決議を附す対象の元の議案に反対

中川健一議員

今般、付帯決議を附す対象の元の議案に私は反対をしております。また付帯決議を附す元の議案に反対する理由は、加藤美幸議員が反対討論で詳しく申し上げたとおりです。このように私は元の議案に対して、意見を附した可決、と立つ立場ではありませんので、付帯決議案には反対をいたします。











5月臨時会挙手採決の様子(議案42号)

常任委員会の構成





総務委員会の様子

	委員	副委員長	委員長	◇総務委員会（8人）
				
石川 英之	坂井 美穂	鈴木 幸彦	沢田 清	
				
		鈴木 健一	小出 義一	
				
			水野 尚美	
				
			竹内 功治	



文教厚生委員会の様子

	委員	副委員長	委員長	◇文教厚生委員会（7人）
				
榎原 伸行	久世 孝宏	澤田 勝	山本 半治	
				
			嶋崎 昌弘	
				
			芳金 秀展	
				
			加藤 美幸	



建設産業委員会の様子

	委員	副委員長	委員長	◇建設産業委員会（7人）
				
渡辺 昭司	中川 健一	山田 清一	小栗 佳仁	
				
			新美 保博	
				
			伊藤 正興	
				
			岩田 玲子	

各種委員会の構成

議会運営委員会

- 委員長 鈴木 幸彦
- 副委員長 水野 尚美
- 委員 嶋崎 昌弘 / 小出 義一
- 山田 清一 / 中川 健一
- 渡辺 昭司 / 石川 英之

政治倫理審査会

- 委員長 竹内 功治
- 副委員長 山田 清一
- 委員 新美 保博 / 小出 義一
- 鈴木 幸彦 / 伊藤 正興
- 加藤 美幸 / 石川 英之

政務活動費管理委員会

- 委員長 榊原 伸行
- 副委員長 加藤 美幸
- 委員 嶋崎 昌弘 / 小出 義一
- 山本 半治 / 石川 英之

政策調査研究プロジェクト

- 座長 久世 孝宏
- 委員 新美 保博 / 小出 義一
- 山本 半治 / 中川 健一
- 石川 英之



半田市議会では、市民の皆様への情報発信を強化するために「広報」「広報」

「交流企画」の3つの委員会を編成しています。三役を除く全議員がい

ずれかに所属し、さらに「開かれた議会」を

広報委員会

- 委員長 山本 半治
- 副委員長 嶋崎 昌弘
- 委員 小出 義一 / 水野 尚美
- 鈴木 幸彦 / 中川 健一
- 榊原 伸行

広聴委員会

- 委員長 山田 清一
- 副委員長 伊藤 正興
- 委員 新美 保博 / 竹内 功治
- 岩田 玲子 / 久世 孝宏

交流企画委員会

- 委員長 渡辺 昭司
- 副委員長 坂井 美穂
- 委員 鈴木 健一 / 芳金 秀展
- 加藤 美幸 / 石川 英之



第26回議会報告会の様子

半田市選出各組合議会

中部知多衛生組合議会

- 構成市町 半田市・常滑市・武豊町
- 沢田 清 / 水野 尚美
- 山田 清一 / 中川 健一
- 澤田 勝

知多中部広域事務組合議会

- 構成市町 半田市・東浦町
- 阿久比町・武豊町
- 小出 義一 / 沢田 清
- 伊藤 正興 / 坂井 美穂
- 加藤 美幸 / 澤田 勝

半田常滑看護専門学校管理組合議会

- 構成市町 半田市・常滑市
- 芳金 秀展 / 沢田 清
- 澤田 勝 / 榊原 伸行

知多南部広域環境組合議会

- 構成市町 半田市・常滑市
- 南知多町・美浜町・武豊町
- 新美 保博 / 沢田 清
- 渡辺 昭司



令和2年度議会選出各種委員等

衣浦港整備促進期成同盟会

- 委員 沢田 清 / 岩田 玲子

半田市都市計画審議会

- 委員 新美 保博 / 芳金 秀展
- 鈴木 幸彦 / 中川 健一
- 榊原 伸行

阿久比川水系改修期成同盟会

- 委員 沢田 清 / 伊藤 正興
- 竹内 功治 / 澤田 勝
- 岩田 玲子

知多地区道路整備促進期成同盟会

- 委員 沢田 清

衣浦大橋整備促進期成同盟会

- 委員 沢田 清

半田連続立体交差事業促進期成同盟会

- 顧問 沢田 清

矢作川境川流域下水道推進協議会

- 委員 沢田 清

半田市青少年問題協議会

- 委員 坂井 美穂

半田市地域公共交通会議

- 委員 伊藤 正興

(令和2年6月1日現在) 氏名は議席番号順に掲載

総務委員会 活動報告 (要旨)

調査テーマ

「新しい広聴のあり方」

現在、半田市では第6次総合計画「次代へつなぐ市民協働都市・はんだ」を掲げ、「まち」を構成する全ての「人」による、参画と連携による協働のまちづくりを進めています。

市は総合計画を始めとした各種計画の策定や見直しにも幅広く市民から意見を聴き、意見の反映に努めてきました。市議会としては、市民の関心が高く、市民生活に影響が大きい施策や事業の立案段階では十分な市民参加が得られていない状況にあると考えています。

半田市が今以上に、市民の皆さまから愛着と誇りを持たれ、協働のまち「半田」が次代に引き継がれていくためには、計画を形づくる段階から幅広い市民参加を得て、市民の意思や意見が施策、そして市政に反映され、それを市民が実感できることが重要であると考へ、新しい広聴のあり方と、その有効な手法について調査、研究することとした

ものです。

現在の半田市の状況を踏まえ、全国的にも広聴活動において市民議会や市政モニター制度などの先進的な取り組みを行い、効果をあげている、東京都三鷹市、神奈川県茅ヶ崎市、埼玉県朝霞市、岐阜県多治見市を視察するなど調査研究を行った結果、委員からは次のような意見が出されました。

- ・ 議会などへの参加依頼を行う各年代別の無作為抽出数を茅ヶ崎市のように最終的な参加人数を想定して行うことは有意義である。
 - ・ 中立性を保つために青年会議所、大学など事業を主導する会議体や人材「担い手」の発掘が重要である。
 - ・ 議会などで出された意見に対する市の対応を明らかにすることで市民の満足度が高まり、参加意欲も高まる。
 - ・ 議会のテーマは、例えば庁舎の建て替えなど、市民生活に深く関わるものが相応しい。
 - ・ 若い世代の参加が少ないため、その世代の参画を促すための工夫が必要である。
- 市政モニター制度を使った

アンケートについて、

- ・ 現在半田市が行っている市民アンケートを改善することで、市政モニター制度と同等の効果が得られるのではないかと。
- ・ 登録者への調査票送付のため回収率が高く年代構成をうまく整えられれば効率的な運用である。
- ・ 日程や拘束時間等の問題で話し合いに参加できない市民に対してモニター登録による意見聴取は有効な手法である。

その後、委員会での議論を経て、市へ行った提言は次の次の通りです。

1. 市民の関心が特に高くなると思われる、又は、市民生活に極めて大きな影響があると見込まれる施策においては、施策を構想する段階から市民の声を積極的に聴くようにしていくことが必要である。そのため、半田市は、これらの施策を構築していくに際し、既存の広聴手法に加えて、広く市民の声を聴くことができ、また、市民の市政への参画も推進できる市民議会を行うこと。

2. 施策を構想する場合、必要に応じて市民アンケート等の複数の手段を講じること。

以下は提言にかかる留意点について添えさせていただきます。

○市民議会では

- ・ 参加者の選出は、最終的な参加者の構成が市の人口年代構成を同じくした「ミニ半田市」となるなど年代別の抽出数を工夫した無作為抽出とすること。
- ・ ファシリテーターの役割は重要であり、その選出にあたっては、行政主導とならないようにすることが必要である。商工会議所・青年会議所等の各種団体や、大学、市民議会経験者等、民間の力を得られるよう協力をお願いし、公正中立を保つこと。

- ・ 議論がより深まるよう、市は参加者に対して、事前に施策についての考え方を十分説明し、積極的な討議により意見が醸成されるよう努めること。
- ・ 市は討議会の市民意見を尊重すること。
- ・ 市民意見をホームページや市報に載せるなどし、意見

への対応を明らかにすること。

○市民アンケートでは

- ・ 意見聴取が困難な若い世代やサイレントマジョリティーの意見を聴くために、抽出数の工夫など既存の手法を見直し、改善を図ること。

市民がまちづくりから置き去りにされることなく、主体的・積極的に参画できる半田市であるよう、市議会総務委員会から半田市に対し提言を行いました。

【市民議会とは】

無作為で選ばれた市民が、必要な情報提供を受けて地域問題などの政策課題を討議し意見を集約して合意形成を目指す市民参画のシステム。

ドイツなどで行われている「プラーヌクスツェレ」という手法を日本風にアレンジしたものです。



公共施設のあり方調査
特別委員会活動報告
(要旨)

調査テーマ

「今後の公共施設のあり方」

少子化により生産年齢人口が減少し、税金を納める人が減っていく一方で、高齢者の割合が増え、扶助費が増大し、財政に余裕がなくなり、公共施設を維持・更新していくための費用が捻出できなくなっていくことが懸念されます。そのため公共施設を自治体経営の視点から総合的、統括的に企画・建設・管理・運営・利活用する仕組みである「公共施設マネジメント」の推進が求められています。

加や市民ニーズ等に対応するため、多くの公共施設が整備されてきました。

「半田市公共施設等総合管理計画」における財政の見通しと方針の甘さや、従来からの縦割りの施設管理体制のため、「公共施設マネジメント」の推進体制が明確になっていない現状と、幹部職員の危機意識の薄さを伺うことができ、国が「公共施設等総合管理計画」の策定を全国の自治体に要請した意図とはかけ離れていることが分かります。

また、公共施設の老朽化問題について、市民との情報共有がなされていないことも重要な課題であり、このままでは、将来世代に大きな負債を負わせることになってしまうのではないかと危惧しています。

以下を委員会の総意とし、提言いたします。

一、老朽化した公共施設の更新問題の本質は財政問題であり、社会環境の変化に応じて財政見通しを今一度見直すこと。

一、公共施設の更新問題に関する課題解決には、総合的に企画、建設、管理、運営、活用、処分する取組みである「公共施設マネジメント」により、組織体制を含め適正規模(量的管理)を適正管理(維持管理手法)すること。

一、住民の理解を得るための説明会を開催するなど、市民に対する説明責任を果たし、合意形成を図ること。

中小企業振興調査
特別委員会活動報告
(要旨)

調査テーマ

「半田市の中小企業の振興に関する基本的な方向性や姿勢についてどうあるべきか」

【背景】

中小企業は、日本の全企業数の99.7%を、全従業員数の約7割を占めています。半田市においても、中小企業が生活に密着した、欠かすことのできないものやサービスの提供を行っていることは間違いないと、半田市の経済地域の活性化における中小企業の影響は非常に大きなものであることが容易に想像できます。

一方で、中小企業を取り巻く環境は非常に厳しい状況です。中小企業庁の試算によると、現状を放置すれば、中小企業廃業の急増により2017年から25年頃までの累計で、全国で約65万人の雇用、約22兆円のGDPが失われる

可能性があるとしております。現状のやり方では、この状況を打破できると思えず、加えて、これらのような中小企業を取り巻く環境が広く理解されていない、と感じています。

私たちは、地域経済の活性化は中小企業の発展があつてこそであり、その重要性を広く理解・共有し、中小企業を発展させるために半田市としてやれることがあると考えて調査を行いました。

【4点の提言】

先進地の視察などを経て、議論・検討をした結果、以下4点を市長に提言しました。

- ① 市民や商工業者の合意形成を図りながら、より有効な産業復興策を展開するための施策提言の場として、産業振興会議を設立すること。
- ② 企業の動向やニーズの調査、実態を把握するために、また、中小企業との信頼関係

を築くために、より積極的な企業訪問を行うこと。

③ 広く市民の皆様にも、中小企業が地域社会の発展に果たす役割の重要性を理解していただくよう、意識を醸成すること。

④ ①～③を実現し、継続していくために、条例の制定、または既存の半田市商業振興条例を改正すること。

【最後に】

調査の最終盤に、新型コロナウイルス感染症により、日本・半田市の経済は戦後最大とも言われる危機を迎えました。しかし、必ず迎える収束、その後は、市民の方と、そして中小企業の方と共に立ち上がらなければ、半田市の早期復興はあり得ません。その時を見据えコロナ禍を理由の一つの企業も倒産させない、そのような気概を持って中小企業振興に努めるよう要望しました。

6月定例会の予定

6月9日(火)から6月19日(金)

※会期中の日程は約一週間前の会議で決定します

ぜひ、本会議の一般質問をご覧ください。

- ケーブルテレビCACで放送
- 動画配信サイトYouTube(ユーチューブ)で録画映像の配信

を行っています。(翌日以降になります。)

- YouTubeからは、いつでも・どこでも視聴が出来ますので、是非ご覧ください。
- 視聴方法 右のQRコードからアクセス頂くか、動画配信サイトYouTubeにおいて、「半田市議会」と検索してください。



半田市議会
(YouTube)

[議会傍聴時のお願い]

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本会議の傍聴にお越しの際は、マスクの着用や手指の消毒などにご協力ください。

あとがき

未曾有とも言えるコロナ禍にあって新年度がスタートし、3密を避ける対策を取りながらの議会活動が行われています。

この難局を市民の皆様と一緒に乗り越えていくために広報委員会では新たなメンバーの皆様と元気と安心をお届けできる誌面づくりに努めてまいります。

広報委員会

- 委員長 山本 半治
- 副委員長 嶋崎 昌弘
- 委員 小出 義一 / 水野 尚美
- 鈴木 幸彦 / 中川 健一
- 榊原 伸行

編集・発行 半田市議会

〒475-8666
半田市東洋町2-1
TEL 0569-84-0694
FAX 0569-24-7185
E-mail: giji@city.handa.lg.jp



QRコードは機読ソフトウェアの登録商標です。

半田市議会へ